

40万部突破
ベストセラー



ケーキの切れない 非行少年たち

(元精神科医 宮田幸治著)



みとみ学園
学園長
三富 邦基

元精神科医の著者は医療少年院に勤め、罪を犯した少年(少女を含む)に接しました。

その中で彼らが非行に走った原因の一つに“見る力”“聞く力”など、学習の土台となる能力が弱かったとのこと。

その少年たちに共通しているのが、

- 簡単なたし算・ひき算ができない
- 漢字が読めない
- 簡単な図形を写せない
- 短い文章すら復唱できない

だから更生の為の反省を求めたり、被害者の気持ちを考えるように言っても、彼らには難しすぎて理解できないのです。

実際、小学校でそういった学習面で困っている子供はクラスの下から5名程度いるというから驚きです。

では、学校の授業について行けない子供には、どんな支援をしていけばよいのか？

それは、良いところを誉めたり話を聞いてあげるのではなく、その子が必要としている勉強ができるように、してあげる事しかないのです。

漢字や計算などの学習の土台となるのが、認知機能であり小さい内に「覚える・数える・写す・見つける・想像する力」をきちんと全て教えてあげなくては行けないと、著者は主張しています。